

中国

チチハル  
齊齊哈爾市



宇都宮市の姉妹文化友好都市で2番目に友好都市提携をしたのは、  
中国・黒竜江省の齊齊哈爾市でした。  
齊齊哈爾市とは、どんな都市なのでしょう？  
そして、どうして友好都市として提携したのでしょうか。  
このパンフレットは、その疑問にお答えします。



# 齊齊哈爾市と友好都市になるまで

1984年9月30日、  
齊齊哈爾市と友好都市を提携しました！

齊齊哈爾市との提携に至るまでのきっかけとなったのは、宇都宮市中国友好協会の活動からでした。

そして、1984年に提携が実現して以来、国情の違いもあり、限られた範囲での交流でありましたが、宇都宮市と宇都宮市中国友好協会の共催のもとに、多くの交流事業が行われてきました。

まず最初に、それらの交流の経過と事業のあらましをここで紹介します。

## 第1～3次訪中団の派遣

齊齊哈爾市には、戦時中、宇都宮から旧陸軍の14師団が駐屯し旧満州国の国境警備に従事していたことから、現地で亡くなられた戦没者の墓参を希望される当時の関係者の皆さんの強い要望もあり、宇都宮市が主催して、第1次訪中団(30名)を派遣し、北京、ハルビン、瀋陽等の訪問のかたわら、1980年、当時は中国と国交はありましたが、まだ未開放地区であった黒竜江省齊齊哈爾市を、団員6名が、最初に訪れ、大歓迎を受けました。

その後、1982年と1984年にも、第2次3次の市民訪問団の派遣に併せて、齊齊哈爾市を訪問し、旧交を温める団員も多くあり、市民訪問団として、齊齊哈爾を訪れたことが後の友好都市提携のきっかけとなったといえましょう。

## 黒竜江省および齊齊哈爾市への図書贈呈

1981年、宇都宮市民に呼びかけ、家庭に所蔵されていた図書を収集し、黒竜江省および齊齊哈爾市へ贈呈しました。

最初は20,000冊、以後、数次にわたって続けられ、両市の友好に大いに貢献しました。

## 中国人民対外友好協会・黒竜江省代表団の受け入れ

1982年、齊齊哈爾市政府外事弁公室の関係者が来日し、宇都宮市を視察するとともに、宇都宮市中国友好協会関係者との友好を深め、1983年に齊齊哈爾市副市長が来日の折に、市長からの友好都市提携の申し入れの親書が持参されました。

1984年、宇都宮市助役を団長とする答礼団を齊齊哈爾市へ派遣し、現地の状況を視察。この際、再度、齊齊哈爾市長から早期提携を希望する親書が宇都宮市長宛に手渡されたため、宇都宮市としては、第3次訪中団の齊齊哈爾市訪問に合わせて、齊齊哈爾・宇都宮両市長が会談し、友好都市提携の機運が盛り上がり、提携の方針が定められました。

## 友好都市提携調印団の派遣

1984年7月、齊齊哈爾市長を団長とする提携調印団一行5名が来宇し、宇都宮市議会議場において合意書に調印し、改めて1984年9月30日、宇都宮市から友好都市提携調印団が中国を訪れ、齊齊哈爾市において調印式が行われ、ここに友好都市が誕生しました。

中国の都市との姉妹都市提携は、姉妹の文字が、どちらが姉か妹かとの上下を表す言葉であることから、姉妹都市とは表示せず、日本全国の都市でも、“友好都市”としての交流を行っています。



# 齊齊哈爾市との交流

## 訪問団の派遣と受け入れ

齊齊哈爾市との交流事業は、宇都宮市や 1982 年に発足した宇都宮市中国友好協会によって計画され進められてきました。

交流事業は、相互理解と友好親善をスローガンに両市民の交流を図ることを目的とし、公募により訪問団員が募集され、応募した団員は、齊齊哈爾市において市長表敬や歓迎レセプションへの参加や、市内施設見学や観光を楽しみ、齊齊哈爾市民との交流を深めて、これまでに、12 回の市民訪問団の派遣が行われています。

## 留学生の派遣と受け入れ

1990 年から齊齊哈爾市の留学希望者を対象に、日本語や日本文化を習得することを目的に 1 年間宇都宮大学で受け入れが、行われてきました。

また、1993 年以降、宇都宮市からも公募により留学生を齊齊哈爾市へ派遣し、齊齊哈爾大学で中国語研修を行っています。医学研修生の受け入れには、獨協医科大学に研修受け入れを依頼し、大学病院に於いても、実習するなど、大いに実績を上げてきました。

循環器内科で研修した研修生王新さんは、獨協大学で外国人として、初めて博士号を取得し、内外から高く評価されました。これらに要する滞在費等の経費は、受け入れ側が負担し、実施されてきました。

その他にも、宇都宮市内において中国書画展の開催、齊齊哈爾市において日本語スピーチコンテストの開催、卓球や太極拳などを通じたスポーツ交流などが行われてきました。

1996 年には、齊齊哈爾市で多く生息する丹頂鶴が、宇都宮市の“ろまんちっく村”の開園に合わせて贈呈されました。現在も、道の駅うつのみや“ろまんちっく村”で飼育され、多くの来場者を楽しませています。

2004 年には、友好都市提携 20 周年を記念して、初めて齊齊哈爾市から青少年 13 名が来宇し、中国人として初めて宇都宮市内で民間人宅にホームステイを体験し、市民との交流を楽しみました。

その後も、齊齊哈爾市の中学生 13 名が、研修旅行の一環として来宇し、市内の施設見学などの交流を楽しんでいます。

これまでの交流事業は、両市によって計画実施された事業が中心で、以前は宇都宮市中国友好協会が、宇都宮市を通して市民訪問団を派遣していましたが、ここ数年間、市民レベルの交流は、友好協会が解散したこと等により、残念ながら計画されていない状況です。

国レベルの緊張が高まる中、こんな時だからこそ市民の交流を深め、相互理解と友好親善を図り、両市の発展に寄与することが、友好都市提携の最も大切な意義ではないでしょうか。

これからの、交流事業の企画と充実発展が大いに期待されているところです。

## 経済考察団と企業研修生の受け入れ

齊齊哈爾市副市長を団長とする考察団が宇都宮市を訪れた際に、市内の酪農、医療、コンピューター関連の施設を視察し、企業内研修生の受け入れについて依頼があり、1985 年以降、宇都宮商工会議所を通して、毎年 10 名程度の研修生を、宇都宮市内の企業で、受け入れが実施され、両市に交流に大きく貢献してきました。

これらの研修生は、宇都宮市内の企業で働きながら技術を習得し、帰国後は、齊齊哈爾で企業に従事し、大きな評価をえており、今日も継続して行われています。

## 友好都市提携 20 周年記念式典開催

友好都市提携 20 周年を記念して、宇都宮市長をはじめ、市民訪問団並びに市議会議員訪問団など総勢 120 名が齊齊哈爾市を訪問し、齊齊哈爾市役所において、再調印式が盛大に実施されました。

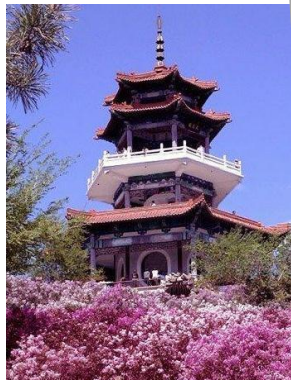
記念事業として、明月島で記念植樹を行うとともに、齊齊哈爾市民との中国語、水墨画、書道、気功、餃子作りなどで齊齊哈爾市民との交流が行われました。



# 齊齊哈爾市のあらし

## 歴史

古くは、漢・晋・遼の時代にさかのぼりますが、元・明・清の時代には、ダウール族やシボ族の狩猟地としてすでに知られていましたが、1674年に吉林水師營の軍により屯田が開始され、以後北方警備のための軍事的拠点として大きく発展したと言われています。中華民国成立後は、中国東北部における政治・軍事の中心地としての地位が確立し、1936年に満州国が建国されると市政が施行され、第2次大戦後、新中国成立後、一時期、黒竜江省の省都とされましたが、1954年に省都はハルビン市に移されて黒竜江省、第2の都市として、大きく発展しています。



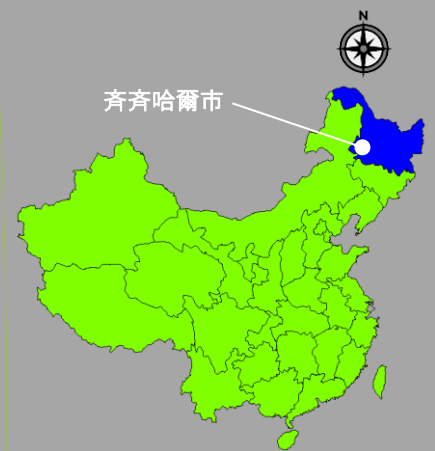
## 地理と気候

黒竜江省西北部に位置し、西は内モンゴル自治区のフルンボイル市、北は黒河市、東は綏化市、南は吉林省白城市と隣接しています。嫩江が市内を南に流れ、チチハル市の南東 30 km では支流である鳥裕爾河のほとりに長さ 8 km、幅 9 km の湿地帯が広がっています。亜寒帯冬季少雨気候とステップ気候の境界に属していますが、冬季は非常に寒さが厳しく、マイナス 30℃になることもあります。夏季は蒸し暑く、7月の平均気温は 23.3℃で、夏季と冬季の気温にかなりの差があります。年間降水量は 415mm で、ほとんど夏季に集中するとされています。

## 概要

人口は約 570 万人、面積は 4,300 km<sup>2</sup> !

チチハルとは、ダウール語で「辺境」または「自然の牧草地」という意味です。黒竜江省の省都ハルビンに次ぐ、人口 560 万を超える政治・経済・文化の中心地で、面積は約 4,300km<sup>2</sup> で、宇都宮の約 10 倍の広さがあります。人口の約 7 割が農業に従事していると言われますが、最近では、新興工業都市として、高層ビルが立ち並び、商工業の中心地として大きく発展しつつあります。





チチハル市からの研修生が会員宅で日中餃子づくりで交流しました



H13 年 9 月にチチハル市から贈呈された丹頂鶴が市内の「ろまんちっく村」で 8 羽元気に飼育されています



## 市 政

1949 年 10 月 1 日、中華人民共和国黒竜江省齊齊哈爾市が成立しました。

以来、第 1 次から第 3 次の行政改革を経て、現在 7 市轄区・1 県級市・8 県を管轄する地級市(行政級別)で、黒竜江省第 2 の都市で、省の直轄市とされています。

### 齊齊哈爾豆知識

人 口	約 570 万人
面 積	約 4,300 km <sup>2</sup>
位 置	東経 123 度 58 分 北緯 47 度 20 分
気 候	亜寒帯冬季少雨気候 ステップ気候
気 温	夏季 23℃、冬季 -18℃ ※ 平均気温
時 差	-1 時間
公用語	中国語
通 貨	人民元 (1 元=約 16 円)

## 観 光

### 世界有数の丹頂鶴の生息地！

市内最大の観光地は、扎龍<sup>さつりゅう</sup>自然保護区で、大自然とバードウォッチングを楽しむことができます。齊齊哈爾市は、丹頂鶴の生息地としてとても有名で、毎年 8 月には Qiqihar Crane Watching Festival が開催されます。

また、齊齊哈爾は、古くから「鶴城」とも呼ばれていたほどで、現在も世界に生息する 15 種のうち、約半数の種類の鶴が自然保護区内で生息しています。

齊齊哈爾市内最大の公園である龍沙公園<sup>りゅうさ</sup>には、労働湖や遊園地、動物園などがあります。労働湖という湖は龍沙公園の約 3 分の 1 を占め、毎年冬には、氷で作った彫刻が展示される龍沙氷景遊覧会(Qiqihar Ice & Snow Show Event)が開催され、多くの観光客で賑わいます。

その他にも、大乘寺や明月島景区なども有名です。

市内の施設としては、齊齊哈爾大学、齊齊哈爾医学院の他、高等専門学校があります。


### 龍沙公園や明月島は、市民の憩いの場！





宇都宮市の姉妹文化友好都市シリーズⅡ  
中国 齊齊哈爾市

発行日 2018年3月31日

発行者  NPO法人宇都宮市国際交流協会  
宇都宮市姉妹文化友好都市パンフレット作成実行委員会  
〒320-0026 宇都宮市馬場通り4-1-1  
Tel 028-616-1870 Fax 028-616-1871  
Email [ucia@ucia.or.jp](mailto:ucia@ucia.or.jp) <http://www.ucia.or.jp/>